



合格体験記

児玉 一哉さん

(2017年度 宅地建物取引士試験合格)

①宅地建物取引士を目指したきっかけ

不動産業界に興味があったため。

②独学ではなく、受験指導校を利用することに決めた理由

独学よりも合格の近道だと思ったので。

③TACでの受講を選んだ理由

- ・家から近くに校舎があったため
- ・受講料が手頃。
- ・確実に合格したかったので実績のあるTACを選びました。

④TACで受講して良かったところ

TACの営業時間中だったら自分に合った時間で、いつでも自習できる教室があったこと。

⑤教室講座や講師の良かったところ

講師に質問したら、丁寧に答えてくれた。

⑥DVD講座や講師の良かったところ

総合本科生コースの時のDVD受講の講師の説明がわかりやすかった。
科目の項目ごとにA、B、Cランクに分けてくれ最も重要なAランクを中心に効率よく勉強できた。
本試験ではAランクのものが、多く出題されているのには驚いた。

⑦TACの教材について

無駄がない。

⑧直前答練・全国公開模試の活用方法や受験して良かったところ

難しい答練が毎年ある。
今までやってきたことができていない所と、できていない所がわかるので良かった。

⑨効果的な学習方法

- (第一段階) 前々回、前回本試験の具体的な敗因分析。その結果弱点がわかり、そこを重点的にやる。
- (第二段階) 本試験問題10年分は宅建の根幹なので暗記せず理解して解くように徹した。
- (最終段階) 模擬テストを数こなしていく。そうすると毎回似たような正解をしなければならない。問題を間違えたことに気付く。そういう部分の答えの解説の理解度を上げていく。

⑩1日の学習時間(TACでの講義時間を除く)

- 基礎期・応用期(おおよそ9月頃まで) 平日 2時間 休日 2時間
- 直前期(おおよそ9月頃～本試験日まで) 平日 3時間 休日 3時間

⑪受講中苦労したことや、学習上の工夫、常に心がけていたこと等

- (苦労したこと) 過去問の答えの解説に対する理解度を上げること。
- (工夫) メリハリをつけた時間の使い方。勉強場所をかえる。
- (心がけたこと) 毎日2時間は勉強する。

⑫これからの受験生へメッセージ

3回目で合格したことを思うと根気よく計画的に勉強すれば、とれない資格ではないと思いました。
みなさん頑張って下さい。

⑬最後に一言

ふー。2回目の時に敗因分析しとけばなー。2回目で通れたかもね。